

商 千葉商科大学同窓会

千葉商科大学同窓会ニューズレターは同窓会情報誌「きずな」のダイジェスト版であります。「きずな」本誌は年会費納入者に年3回、お届けし、大学の最新情報、同窓会の活動状況を皆様にお伝えしております。母校愛が蘇っております。

お申込み・問い合わせは、同窓会事務室および Web サイトにて承っております。

☆ご意見、ご要望を

お聞かせください☆

[TEL&FAX]

047-371-2665

[E-mail]

salon@all-cuc.org

同窓会ニューズレターや「きずな」の紹介記事、イベント、連絡事項は同窓会Web サイトに掲載されています。

[同窓会 Web サイト]

<http://www.all-cuc.org/>

[Facebook ページ]

ID : cuc.kizuna

[発行者]

千葉商科大学同窓会
広報・IT委員会

〒272-8512

千葉県市川市国府台 1-3-1



同窓会変貌のプロローグ



千葉商科大学同窓会会長 加瀬 正裕

来る11月1日の同窓会定期総会に向けて同窓会改革の準備が進められております。改革の主眼は「同窓会維持会費の増加」「組織の適正な人材登用」「母校との密なる連携強化」等であります。前期（第45期）定期総会において会則改正の方向性につき承認を取り付ける予定でしたが、継続審議となりました。

その後、「会則見直しプロジェクト」により、改革のための意見集約と不断の努力を積み重ね会則改正を軸に関連規程をまとめ上げました。「正副会長会議」「常任幹事代表者会議」等との協議を交え更に内容の整備を進めています。こうした中、円滑な移行を成すには、特別措置を視野に入れる必要があり、10月中旬開催の「常任幹事会」は総会前の大事な機関手続きと考えます。

改革を契機に、同窓会活動は「人と人との単位集団を増大させ活動力を高める」「会員間の協力関係を促し、持続力に富んだ組織作り」が私達の務めです。その結果、母校・学生とのつながりが深まります。

そのためにも皆が「寄り合える同窓会づくり」、これが大切です。

未来からの留学生は今

平成7年4月、当時千葉商科大学に学長として就任された加藤寛先生は、本学に学ぶ学生達を「未来からの留学生」と名付けた。けだし、名言である。

同窓会本部「広報・IT委員会」（濱野和人委員長）は卒業後の彼等の活躍ぶりを順次、同窓会ホームページより動画にて配信することにした。これは多くの同窓生、特に若い世代に関心を持っていただき、若い世代を中心に同窓会を活性化させることが狙いである。

6月29日に、星飛雄馬さん、川口晴規さん（共に平成12年経済学科卒）、7月25日に石川和憲さん（平成17年政策情報学科卒）にご登場いただき同窓会Webサイトより、現在配信中、ぜひご覧いただきたい。なお、このアイディアは第45期から広報・IT委員会に新たに加わった大木健一、山川司、山中ゆき乃、石田恵の諸氏（共に平成年度卒）の若い世代であり、2ヶ月に1度の委員会では絶えず新しい発想を提案している。同窓会に新しい風が吹きはじめた。

(写真・会議風景)



千葉商科大学瑞穂祭

11月1日（日）～3日（火・祝）

同窓会

11月1日（日）

★第7回ホームカミングデー

★オープニングセレモニー（午前10時）

★第46期定期総会

★懇親会（アトラクション他）（詳細は同封別紙案内参照）

11月1日～3日、「懐かしき思い出工房」 本館1階
思い出のアルバム他展示、映像など

同窓会本部からの報告

◇同窓会情報

1. 「会則の見直し」

第45期定期総会において継続審議となった「会則見直し」はその後、「会則プロジェクト」により意見集約と不断の努力の積み重ねにより、会則案、選挙管理規定案、組織図案がまとまった。狙いは「同窓会維持会費の増加」「組織の適正な人材登用」「母校との密なる連携強化」である。正副会長会議、常任幹事代表者会議、常任幹事会の各会議を経て、11月1日の第46期定期総会に提案される運びである。

2. 「支部長会」・「第6回同窓会交流会」

9月5日（土）支部長会・6日（日）同窓会交流会（葛飾柴又）が行われた。（詳細は「きずな20号」）

◇大学情報

1. 中期5ヶ年計画

主たる内容については昨年の本紙にて紹介したが、今年度は2年目に入り、入学戦略、学生支援戦略、国際化戦略をはじめ、順調に推進しているとのことである。

2. The University Dining オープン

「大学に住む」をコンセプトに新学食がオープン。食事はもちろん授業の空き時間や放課後も、いつでも学生達が自然と集い、新しい発想が次々に創造される環境を提供している。同窓生はじめ誰でも利用できる。



◇維持会費納入のお願い

同窓会は年会費（維持会費）によって運営されております。納入いただいた方々を対象に、「きずな」本誌を年3回お送りしております。同窓会の充実・発展のため、今後とも、年会費（維持会費）の納入にご協力賜りますようお願い申し上げます。（同窓会正副会長・財務委員会）

◇編集後記

本誌は同窓会情報誌「きずな」のダイジェスト版であり一部の情報の伝達にとどめております。事業計画・決算報告はじめ同窓会の記事詳細・大学情報はすべて本誌「きずな」に掲載網羅されております。是非ご覧いただきたく存じます。なお、きずな19号は10月下旬発刊予定です。定期総会でお待ちしております。

（広報・IT委員会）

第46期事業計画に係わる基本方針

自平成27年10月1日 至平成28年9月30日

母校に寄り合い、母校に寄り添う、
信頼される同窓会
母校に寄り合い、母校に寄り添い、
母校と共に歩む同窓会

I 基本目標

- 1 組織の基盤強化…維持会費納入促進
- 2 学生の就職支援のための卒業生データの確保と対象者とのパイプ作り
- 3 活力ある同窓会活動の推進
…若手会員の活動と現役学生の接点作り

II 事業計画

- “活力ある同窓会活動の推進”
- 1 組織の整備・改革及び運用の推進
 - 2 本部、支部の連携強化と支部活動の積極的推進
 - 3 同期会結成の積極的推進
(昭和50年代、60年代、平成年代)

第45期収支計算見込

第45期 収支計算書

(決算見込書)

自平成26年10月1日 至平成27年9月30日

(単位：千円)

正会員収入	30
学生会員収入	15,210
華甲会費収入	200
維持会費収入	5,005
総会費収入	760
寄付金収入	60
広告料収入	300
受取利息収入	531
前年度繰越金	7,150
収入の部合計	29,246
定期総会等会議費	780
人件費	1,371
印刷費	4,272
通信費	4,502
消耗品費	115
賃借料	49
旅費交通費	2,007
振興助成費	2,281
支部長会助成費	200
団体活動助成費	300
同期会結成助成費	183
事務電算委託費	156
学生援助費	1,500
学生会員記念品費	350
雑費	568
奨学基金への繰入支出	600
新会員歓迎費	500
預り金支出	1,749
次年度繰越金	7,763
支出の部合計	29,246